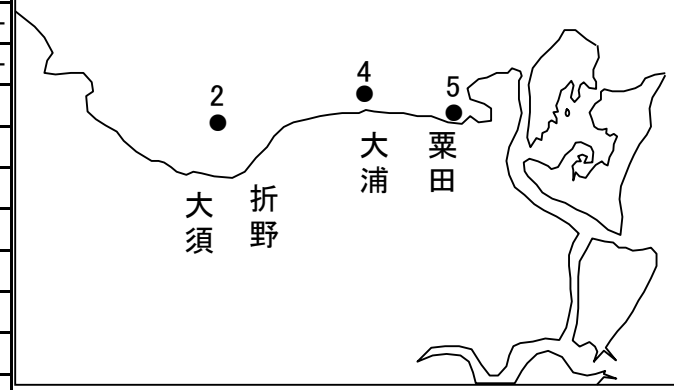


令和3年度 北灘 広域共同調査（11月4日調査）徳島県水産研究課

St.	採水時刻	採水層 (m)	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	細胞/ml		細胞/L
						シャットネラ オーバータ	アレキサンドリウム sp.	コシノディスカス ワイレシー
2	14:01	0-5			6.0	-	0.59	10
		0	21.39	30.99				
		1	21.40	31.00				
		5	21.39	30.99				
		10	21.42	31.06				
		15	21.46	31.12				
		20	21.48	31.15				
		B-1	21.51	31.20				
4	13:34	0-5			9.2	-	0.08	20
		0	21.62	31.14				
		1	21.65	31.12				
		5	21.66	31.12				
		10	21.65	31.23				
		15	21.76	31.47				
		20	21.77	31.49				
		25	21.87	31.67				
		30	21.95	31.73				
		35	21.99	32.00				
		40	22.02	32.08				
		B-1	22.02	32.08				
5	14:28	0-5			7.9	-	-	-
		0	21.65	31.15				
		1	21.65	31.13				
		5	21.65	31.15				
		10	21.65	31.19				
		15	21.67	31.25				
		20	21.79	31.40				
		25	21.92	31.57				
		30	21.94	31.70				
B-1	21.94	31.80						



備考

- ・北灘周辺の沿岸域でノクチルカシンチランス（通称ヤコウチュウ）の集積が見られました。本種は基本的に無害とされていますが、高密度化している海域を航行した場合には活け間内で魚が弱る可能性があります。航行の際は、海面の着色域に注意してください。
- ・麻痺性貝毒原因種を含むアレキサンドリウム属が検出されましたが低密度でした。
- ・藻類の色落ち原因種であるコシノディスカスワイレシーが検出されましたが低密度でした。
- ・珪藻は非常に低密度でした。
珪藻細胞数 St.4(0-5m): 14cells/ml